

平成 27 年 度

第 2 回 西 市 民 セ ン タ ー 運 営 審 議 会

日 時：平成28年3月28日（月）午後2時～

会 場：西保健福祉センター（西保健所）2階会議室

1 開 会

2 開会挨拶

3 議事

（1）報告事項

- | | |
|--------------------|---------|
| ① 平成27年度 事業実施報告 | |
| ア 生涯学習推進課事業報告 | 1P～ 6P |
| イ 指定管理者事業報告 | 7P～ 8P |
| ② 施設利用状況 | 9P～12P |
| ③ 平成28年度 予算の概要 | 13P～ |
| ④ 平成28年度 組織体制・事務分掌 | 14P～15P |
| ⑤ その他 | 16P |

（2）審議事項

- | | |
|---------------------|---------|
| ① 平成28年度 運営方針及び事業体系 | 17P～18P |
| ② 事業計画 | 19P～25P |

4 閉 会

3 議事

(1) 報告事項

① 平成27年度 事業実施報告

ア 生涯学習推進課事業報告

(ア) 人権尊重に関する事業

事業名	趣旨・内容	対象	摘要																				
人権を考える つどい	<p>西区人権尊重連絡会議との共催で、あらゆる差別をなくすために地域における人権教育・啓発活動の充実を図る。(県同和問題啓発強調月間に実施)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開催期日 平成27年7月11日(土) 内 容 テーマ:「愛と平和のストーリー」 ピアニスト「水上 裕子」による トーク&コンサート 	<p>市民 西区人権尊重 連絡会議 構成団体等</p>	<p>参加者416名</p> <p>資料1参照</p>																				
<p>【成果と課題】</p> <p>平成27年度は新たな参加層拡大のため、土曜日に開催し概ね半数が土曜日の開催に肯定的な意見であった。</p>																							
暮らしの中の 人権講座	<p>同和問題など様々な人権問題に対する知識を深め、人権を大切に生きる生き方や社会について考える。</p>	<p>P T A成人教育 委員・市民等</p>	<p>6月5日～26日 全4回</p> <p>参加人数 第1回 75人 第2回 80人 第3回 94人 第4回 89人 合計 338人</p> <p>資料2参照</p>																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>期日</th> <th>テーマ</th> <th>講師</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>6/5</td> <td>おなじ目線で ～気づいてますか大切なこと～</td> <td>部落解放同盟福岡市協議会 執行委員 田中 真理子</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>6/12</td> <td>子どもも大人も輝いて生きる ～男女共同参画5W1H～</td> <td>福岡県人権問題講師団 講師 中嶋 玲子</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/18</td> <td>自分らしく、生きる ～伝えることからすべてははじ まる～</td> <td>視覚障がい者ランナー 道下 美里</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/26</td> <td>子どもの権利から見た 子どもと家庭への支援</td> <td>特定非営利活動法人 SOS子どもの村 JAPAN 常務理事 坂本 雅子</td> </tr> </tbody> </table>	回	期日	テーマ	講師	1	6/5	おなじ目線で ～気づいてますか大切なこと～	部落解放同盟福岡市協議会 執行委員 田中 真理子	2	6/12	子どもも大人も輝いて生きる ～男女共同参画5W1H～	福岡県人権問題講師団 講師 中嶋 玲子	3	6/18	自分らしく、生きる ～伝えることからすべてははじ まる～	視覚障がい者ランナー 道下 美里	4	6/26	子どもの権利から見た 子どもと家庭への支援	特定非営利活動法人 SOS子どもの村 JAPAN 常務理事 坂本 雅子		
回	期日	テーマ	講師																				
1	6/5	おなじ目線で ～気づいてますか大切なこと～	部落解放同盟福岡市協議会 執行委員 田中 真理子																				
2	6/12	子どもも大人も輝いて生きる ～男女共同参画5W1H～	福岡県人権問題講師団 講師 中嶋 玲子																				
3	6/18	自分らしく、生きる ～伝えることからすべてははじ まる～	視覚障がい者ランナー 道下 美里																				
4	6/26	子どもの権利から見た 子どもと家庭への支援	特定非営利活動法人 SOS子どもの村 JAPAN 常務理事 坂本 雅子																				
<p>【成果と課題】</p> <p>アンケートでは、「参考になった」と回答した参加者が90%以上となっており、講座の内容について高評価が得られた。</p> <p>テーマや講師の選定あたっては、解決すべき人権8課題を念頭に選定を行っているが、人権問題を取り巻く状況にも配慮し、性的マイノリティなど、新たな人権課題も取り入れながら実施していくことが必要である。</p>																							

人権教育推進交流会	<p>関係機関・団体との交流学习を通して人権教育の充実を図る。</p> <p>【実施内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校ブロックごとに意見交換会を実施 	<p>地域支援課 関係公民館 関係団体等</p>	<p>2月19日 15人 2月22日 22人 3月9日 12人 3月22日 人</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>中学校ブロック単位で実施することにより、より地域に身近な意見等を聞くことができる。</p> <p>これらの成果と課題を踏まえ、今後の人権教育・啓発の在り方を検討していく必要がある。</p>		
校区人権尊重推進協議会活動支援	<p>校区人権尊重推進協議会への日常的な助言や指導を行う。</p>		4月～3月
	<p>「校区人権尊重推進協議会西区交流会」</p> <p>よりよい校区人尊協活動が進められるよう、各校区の活動状況等の情報を共有するとともに、相互の情報交換や意見交換を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期日 平成28年3月7日(月) ・内容 <p>○講演会：『若者の立場からみえる部落差別』 部落解放同盟福岡市協議会 事務局員 内屋 綾</p> <p>○情報交換：「ワールド・カフェ」方式による 情報、意見等の交換</p>	<p>校区人権尊重推進協議会の役員等</p>	<p>参加人数 62人</p>
<p>【成果と課題】</p> <p>西区では全校区（小呂校区を除く）に校区人尊協が結成され、様々な人権問題の解決に向けた学習・啓発活動が行われており、人権を尊重するまちづくりが推進されている。</p> <p>各校区とも参加者の固定化や活動のマンネリ化等の課題を有しているが、ワークショップを取り入れた情報交換により、「校区の活動に活かしたい」、「活動につながる情報をえられた」との意見が多く寄せられた。</p>			
各公民館人権教育研修支援	<p>地域支援課と連携し、公民館の人権教育の充実を図る。</p>	各公民館	4月～3月
PTA人権教育担当者連絡会	<p>単位PTAの人権教育研修の必要性、事務手続き等についての理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 平成27年5月14日(木) ・内容 人権ビデオ視聴 人権教育研修会の企画と実施について グループ協議 	<p>単位PTAの役員・担当教員</p>	<p>参加 単位PTA 32団体</p> <p>参加人数 72人</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>説明内容への参加者の理解が概ね良好に得られた。</p> <p>（アンケート結果）理解度（よくわかった+大体わかった）96%</p> <p>未参加の単位PTAがあり、今後とも参加要請を行って行く。</p>		

単位PTA 人権教育研修 支援	各単位PTAが開催する研修会を効果的に実施するために、人権教育研修担当役員を対象に研修を行うとともに、会員研修会開催の支援を行う。	単位PTAの 役員・会員	4月～3月
	<p>【成果と課題】</p> <p>会員対象の研修会については、小呂校区を除き、全ての単位PTAで全会員を対象とした講演会等の研修が実施され、PTA会員の人権意識の高揚に一定の成果があった。</p> <p>単位PTAの人権教育担当委員は毎年入れ替わるケースが多く、委員の活動に対する不安を払拭しながら研修の実施等のサポートをしていく必要がある。</p>		
子どもの人権 に関わる総合 講座	<p>子どもの人権を視点に、不登校について正しい知識や対応方法などを学び、考える場を設けることにより、子どもの不登校で悩む保護者等を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校を考える会（毎月開催） ・不登校を考える親の集い（年3回開催） 	不登校に悩む 保護者、支援ボ ランティア	<p>4月～3月 (参加者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考える会 104人 ・親の集い 92人 <p>資料3参照</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>事業開始から10年以上が経過し、認知度も高まり区外や市外からの参加もあるなど、悩みを抱える当事者の受け皿となっている。</p> <p>今後とも、不登校に取り組む団体等と連携するなど、効果的に事業を進めていく必要がある。</p>		

西区人権尊重連絡会議

【趣旨】

地域ぐるみの自主的な校区人権啓発地域組織の活動支援と区民の人権意識を確立し、差別のない明るいまちづくりをめざす。

【実施事業】

月 日	事業名	会 場	内 容
6月17日(水) 14:00~	総会 60人	西市民センター	総会議題 ・役員及び幹事の選任 ・平成26年度事業報告 ・平成27年度事業計画
	委員研修会 52人		委員研修会 演題「家族と暮らす子どもの権利」 講師 特定非営利法人 SOS子どもの村 JAPAN 常務理事 坂本 雅子
7月11日(土) 14:00~	西区人権を考 えるつどい 416人	西市民センター ホール	「愛と平和のストーリー」 トーク&コンサート ピアニスト 水上 裕子
11月26日(木) 16:00~	運営委員会 15人	さいとびあ	議題 ・広報紙「あけぼの」第26号の編集方針について ・第44回福岡市人権を尊重する市民の集い ・街頭啓発について
	街頭啓発 62人	九大学研都市駅 周辺	人権を尊重する市民の集いチラシ配布等
12月4日(金) 13:30~	「人権を尊重 する市民の集 い」への参加 ※福岡市人権 尊重推進委員 会の主催 363人	西市民センター ホール	実践報告:「通学合宿の取り組みについて ~家族になった4日間~」 報告者 金武校区人権尊重推進協議会 講演:「子どもたちに学んだ人権」 ~京都・弥栄中を取材して~ 講師 毎日新聞 西部報道部記者 林 由紀子 資料4参照
3月15日	広報紙 「あけぼの」 第26号発行		・市政だより3月15日号と同時発行。 区内全世帯配布

【成果と課題】

「西区人権を考えるつどい」は、より参加しやすいよう土曜日へ変更。11月の街頭啓発については、例年実施している姪浜駅ではなく、JR九大学研都市駅前へと会場を変更して実施した。

広報紙については、市政だより3月15日号と同時に西区全世帯に配布し、区民の人権意識の高揚に努めている。

(イ) 生涯学習推進に関する事業

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
市民生涯 学習講座	<p>「シニアライフ充実セミナー」 地域で安心して元気に生き生きと心豊かに暮らして行くために必要な人生の知恵を気軽に楽しく学ぶ講座。</p> <p>① 12月5日(土) 「防犯講座」～悪質商法から振り込め詐欺まで、 その手口教えます～ 講師：弁護士 大場 康裕</p> <p>② 1月23日(土) 「相続入門」～相続を争続にしないために～ 講師：司法書士 西村 直樹</p> <p>③ 2月13日(土) 「日暮らし講座」～充実した一日の 過ごし方教えます～ 講師：福岡マスコミOB ネット 木村 怜</p> <p>④ 3月5日(土) 「終活のススメ」～今を生きるための エンディングノート～ 講師：司法書士 本田 昇</p>	市民	<p>12月～3月 4回</p> <p>参加者 ① 20名 ② 25名 ③ 24名 ④ 24名</p> <p>資料5参照</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>60代以上の生涯学習ニーズに特化したカリキュラムとし、講師についても弁護士等の専門家を招くことができたため、参加者のほとんどから「とても参考になった」「参考になった」との評価を得ている。</p> <p>参加者アンケートによると、講座の理解度に関しては概ね企画どおりの結果となっているが、開催時期や曜日などについては、再検討する余地がある。</p> <p>受講申込者数が36名に留まっており、ニーズに沿ったテーマ選定や実施方法の改善やPRの充実に務める必要がある。</p>		

(ウ) PTAの支援に関する事業

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
PTA広報紙 づくり講座	<p>PTA広報紙づくりに欠かせない人権について学習するとともに、紙面作りの基礎知識と技術を習得する。</p> <p>○5月12日(火)9:00～12:00 西市民センター第1・2会議室 講師：西尾紀臣</p>	単位PTA 広報担当委員他	93人
<p>【成果と課題】</p> <p>運動会等の学校行事を踏まえ、5月に開催。</p> <p>アンケートでは、「大変参考になった・少し参考になった」が合わせて、97.7%と極めて高い評価となっており、参加者から「紙面づくりの仕方が理解できた」「見出しや写真の使い方が参考になった」との感想があった。</p> <p>毎年ほとんどの委員が交代するため、習得した知識、技術が継承されにくく、今後も継続して実施していく必要がある。</p>			

PTAとの共催事業（事業企画・運営はPTAが担当）

西区PTA 研修講座	研修講座ではPTA活動の基本的なあり方や役員・委員としての役割について認識を深め、充実したPTA活動をめざす。	単位PTAの 役員・委員他	小学校 5月8日 670人 中学校 5月8日 411人
	<p>【成果と課題】</p> <p>PTA委員は1年毎に交代する委員が多く、研修講座を通してPTA委員の役割について理解し、その後の活動の指針を確認する良い機会となっている。</p>		
西区PTA 研究集会	西区単位PTA活動の中から、具体的な実践事例をもとに意見を交換し今後の活動に資することを目的に開催する。	単位PTAの 役員・会員	小学校 7月4日 399人 中学校 9月26日 220人
	<p>【成果と課題】</p> <p>5～6分科会に分かれ、他校区の実践報告をもとに、グループ討議・発表を実施することにより、さらに充実した活動へつながっている。</p>		
西区PTA 青少年健全 育成研修会	青少年健全育成に関する諸問題について学習を深め、地域ぐるみの青少年健全育成をめざす。	PTAの役 員・会員	小学校（未実施） 中学校 1月16日 449人
	<p>【成果と課題】</p> <p>青少年を取り巻く諸問題について、時宜に応じたテーマで講師を招き実施しており、保護者の知識を高めることに一定の成果が見られる。</p>		

(工) 国際化対応事業

日本語教室	日本語学習を必要とする外国人等の生活向上を目的に、日本語の習得と、日本文化等の学習や交流を深める教室をボランティア団体との共働で実施する。 ・毎週水曜日開催（27年度＝全44回）	日本語に不自 由する外国人	4月～3月 （2月末現在 延べ参加者） 401人
	<p>【成果と課題】</p> <p>孤立しがちな外国人にとって、単に言葉の学習だけではなく、日本文化の学習や仲間づくりの場になっている。短期間だけの参加や学習者のレベルの差など、受講者の多様化もあり、個々の学習ニーズに対応するとともに、増加しつつある九州大学の留学生やその家族への対応等、事業をさらに充実させていく必要がある。</p>		

イ 指定管理者事業報告

平成 27 年度 西市民センター指定管理者企画事業報告書（7 月～2 月）

日時	平成 27 年 7 月 25 日（土）10：00～13：00 資料 6 参照
企画名	西市民センターミステリーツアー2015（参加者 27 名）
事業目的	<利用促進><地域団体との協働>
内容	<p>予め募集した市内の小学生を 4 チームに編成し、センター内に設置されたチェックポイントを巡りチームワークで順位を競うイベント。</p> <p>初めて会ったチームメイトとの交流や施設のバックヤード見学で、センターの紹介と夏休みの思い出づくりを行った。</p> <p>西区子ども会育成連合会の Jr リーダにもチームキャプテンとして参加願った。</p>
自己評価	初年度のバックステージツアーから数えて 4 回目の企画、見学ツアーから現在の形に変えて 2 回目であるが終了後の参加者・保護者からの評判が良く、次年度は更に演出を加えて開催したい。

日時	平成 27 年 7 月 26 日（日）10：00～17：00 資料 7 参照
企画名	チャレンジプラス 2015（参加者 75 名）
事業目的	<芸術活動の奨励><地域団体支援>
内容	吹奏楽の神様と評された現九州情報大学教授 屋比久 勲先生の協力を得て地域の中学生・高校生を対象に楽器演奏の基礎練習を指導していただいた。
自己評価	<p>本年度は日程が吹奏楽コンクール福岡支部大会（中学の部）と重なったことや、当日台風接近の影響もあり 2 校 26 名の参加にとどまった。</p> <p>次年度は大会日程などを考慮し開催日を調整したい。</p>

日時	平成 27 年 8 月 10 日（月）、11 日（火）10：00～18：00
企画名	チャレンジプラス 2015 二部・三部（参加者 10 日 70 名・11 日 220 名）
事業目的	<芸術活動の奨励><地域団体支援><地域の音楽等の奨励>
内容	<p>吹奏楽の神様と評された現九州情報大学教授 屋比久 勲先生の協力を得て、地域の中学生・高校生を対象に楽器演奏の基礎練習を指導していただいた。</p> <p>第二部は情報大学吹奏楽部と合同練習を行い、第三部の情報大学吹奏楽部ミニコンサートでは参加者と合同演奏を行った。</p>
自己評価	先生と協議のうえ、次年度は吹奏楽コンクールの前に勉強会形式で開催する予定。

日時	平成 27 年 12 月 13 日（日） 10：00～17：00 資料 8 参照
企画名	キッズダンスコンサート 2015 （参加者 750 名）
事業目的	<芸術活動の奨励><地域団体支援><子供の参加団体活動応援>
内容	西区を中心に市内で活動するダンスキッズグループにコンサートの機会を提供。 本年度より新しい試みで表彰制度を導入した。 ゲストも縄跳びを使ったダブルダッチやコミカルな動きを表現するなど、回を重ねるごとに様々なダンスチームが参加してくれている。
自己評価	表彰制度は単なる順位決定ではないことから、受賞団体のメンバーから来年も特別賞を狙いたいというお手紙を頂くなど表彰制度を導入したことにより、参加する子供たちのモチベーションも上がり次回の目標ができたという声が聞かれた。 継続開催の声も子供たちや保護者から上がっている（会場聞き取り調査）ことから、更にパワーアップしたイベントとしたい。

日時	平成 27 年 12 月 27 日（土） 10：00～17：00 資料 9 参照
企画名	西市民センター感謝祭 2015 （参加者餅つき 50 名ビンゴ 60 名）
事業目的	<利用促進><利用団体メンバーとの交流><伝統行事継承>
内容	センター敷地内で餅を搗いたり丸めたりする経験スペースを設置。 外国人も含むセンター利用者との交流や利用促進の広報を行うため、年末年始の長期休館前に日頃の感謝を込め開催した。
自己評価	12 月の長期休館前という日程選定の難しさはあるが、毎年高齢者や親子連れに餅つきと言う日本の年末行事を体験していただいている。 餅つきについては事前予約等を行わず近隣の買い物帰りの住民の方にも参加していただくことによって、施設広報活動に効果を上げていると考える。

自習室利用状況 センター 2 階 30 席

利用時間 10:00～20:30

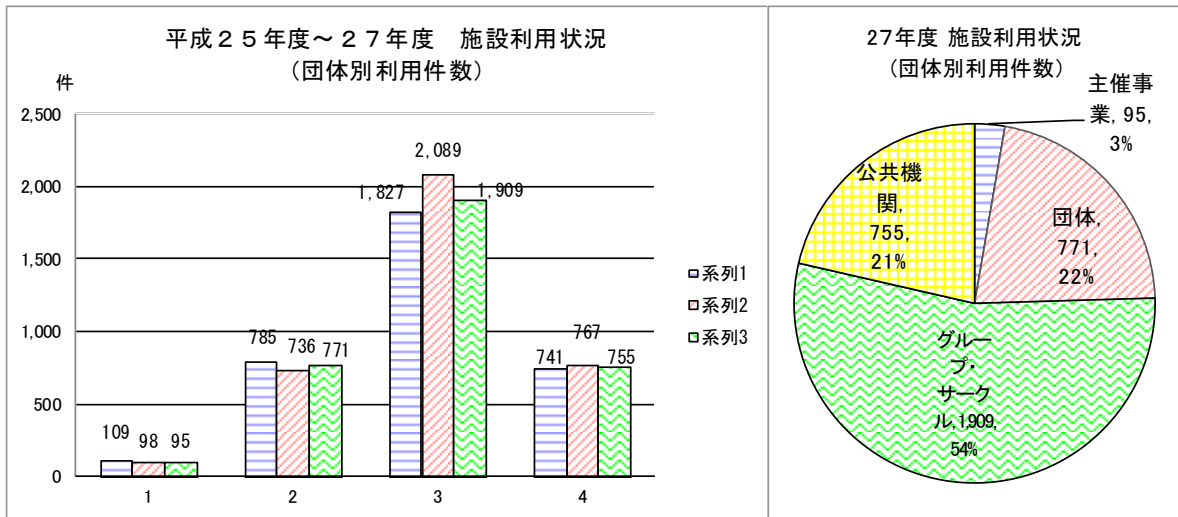
月	一般	高校生	小中学生	合計	平均利用時間
7 月	470 名	218 名	156 名	844 名	3 時間 17 分
8 月	552 名	382 名	247 名	1,181 名	4 時間 02 分
9 月	445 名	266 名	104 名	815 名	3 時間 54 分
10 月	467 名	416 名	54 名	937 名	4 時間 02 分
11 月	301 名	539 名	97 名	937 名	3 時間 39 分
12 月	307 名	316 名	79 名	702 名	3 時間 53 分
1 月	412 名	439 名	105 名	956 名	4 時間 13 分
2 月	373 名	610 名	30 名	1013 名	5 時間 01 分
合計	3,327 名	3,186 名	872 名	7,387 名	4 時間

- 1, 平成 28 年 1 月より退出時間を 20：30 迄と延長しています。
- 2, 平成 28 年 2 月末時点での利用登録者数は 2,404 名

② 施設利用状況（※各年度とも4月～1月まで）

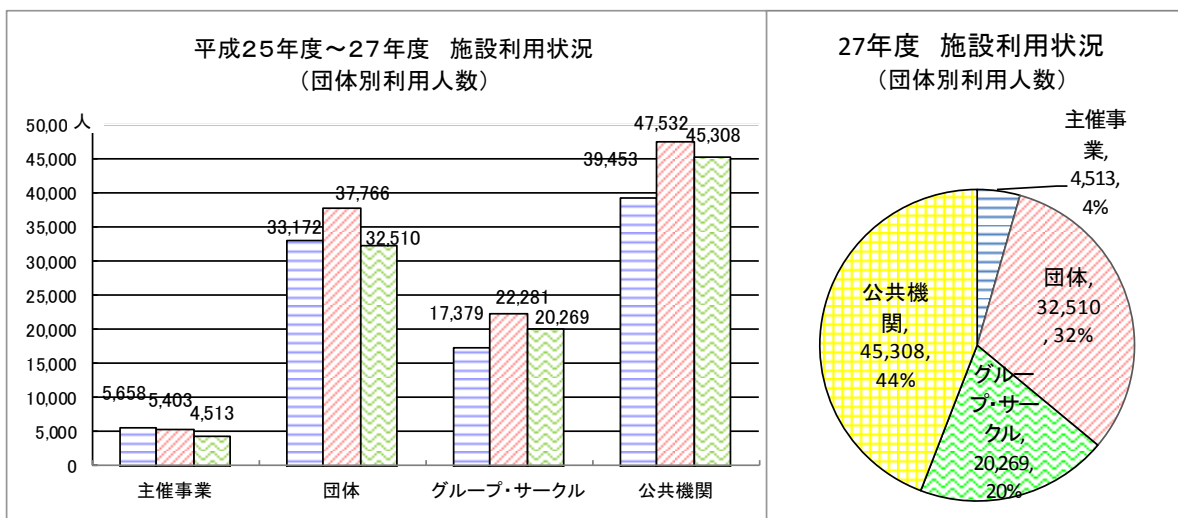
ア 団体別利用件数

年度	団体名	主催事業	団体	グループ・サークル	公共機関	合計
25年度		109件	785件	1,827件	741件	3,462件
26年度		98	736	2,089	767	3,690
27年度		95	771	1,909	755	3,530



イ 団体別利用人数

年度	団体名	主催事業	団体	グループ・サークル	公共機関	合計
25年度		5,658人	33,172人	17,379人	39,453人	95,662人
26年度		5,403	37,766	22,281	47,532	112,982
27年度		4,513	32,510	20,269	45,308	102,600



団体……………社会教育関係団体、地域団体、企業団体など

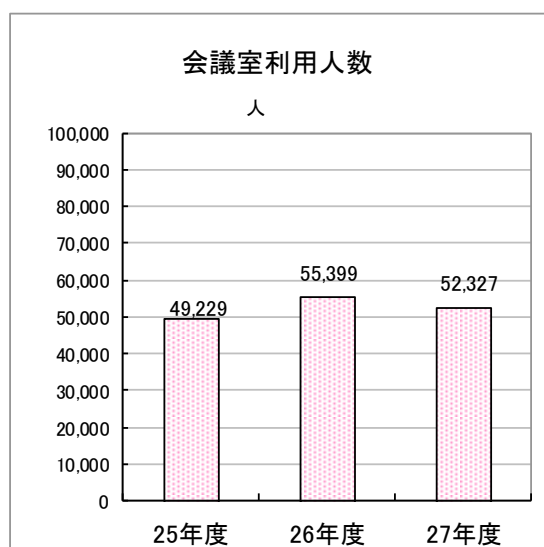
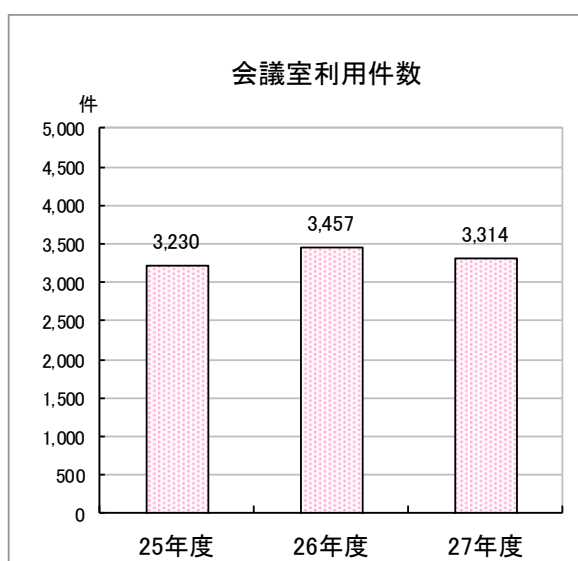
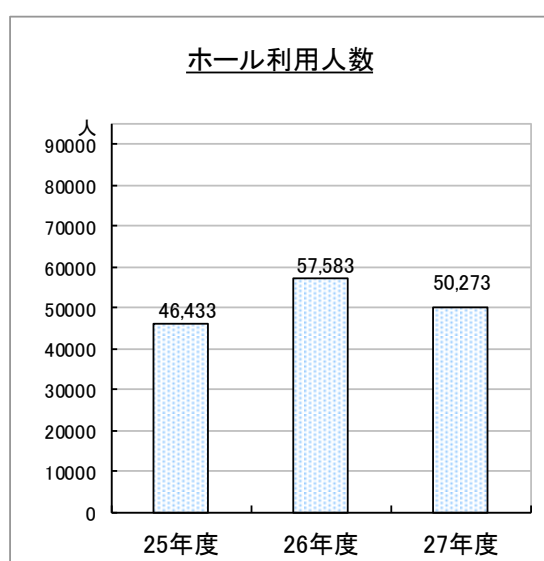
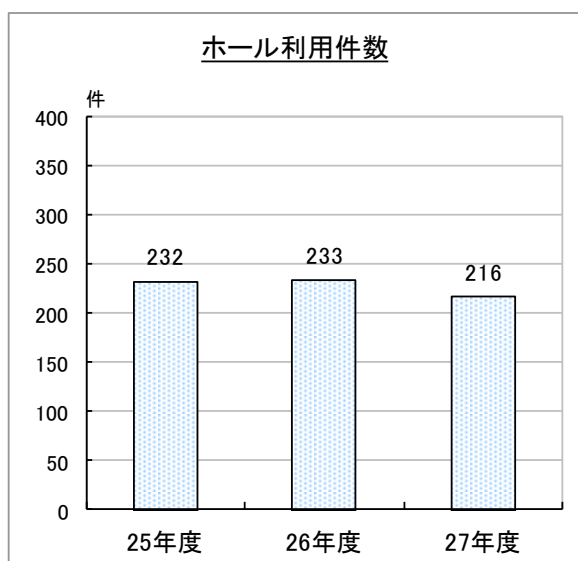
グループ・サークル…演劇、舞踏などの趣味または茶道等の「グループ」、その他の愛好会、同好会、大学・高校関係クラブ・サークルなど

主催事業……………西市民センター(西区生涯学習推進課・指定管理者)の主催または共催事業

公共機関……………主催事業を除く本市の利用や国・県、学校関連、公民館など

ウ 過去3年間の利用状況の推移（平成25年度～平成27年度）

年 度	25年度		26年度		27年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
ホール	232	46,433	233	57,583	216	50,273
会議室	3,230	49,229	3,457	55,399	3,314	52,327
計	3,462	95,662	3,690	112,982	3,530	102,600



工 稼働率

平成27年度 西市民センター利用率（4月～1月）

開館日数	部屋稼働率 全日%	時間帯稼働率		
		午前	午後	夜間
平日	51.0%	49.2%	54.1%	49.7%
土曜日	84.5%	81.4%	88.4%	83.7%
日祝日	74.4%	82.1%	83.9%	57.1%
ホール合計	60.8%	60.6%	65.2%	56.4%
視聴覚室	59.8%	60.8%	69.1%	49.5%
音楽室	76.4%	83.2%	74.9%	71.1%
実習室	60.5%	63.9%	73.2%	44.3%
第一会議室	61.4%	61.9%	72.5%	49.8%
第二会議室	64.3%	68.0%	72.5%	52.2%
第三会議室	70.7%	69.4%	74.9%	67.7%
第一和室	65.3%	65.3%	77.3%	53.3%
第二和室	66.0%	74.2%	71.8%	51.9%
会議室等合計	65.5%	68.3%	73.3%	55.0%
施設合計	65.0%	67.5%	72.4%	55.1%

平成26年度 西市民センター利用率（4月～1月）

開館日数	部屋稼働率 全日%	時間帯稼働率		
		午前	午後	夜間
平日	48.8%	48.1%	48.6%	49.7%
土曜日	82.5%	81.0%	90.5%	76.2%
日祝日	75.3%	77.8%	81.5%	66.7%
ホール合計	59.0%	58.7%	61.2%	56.9%
視聴覚室	61.3%	64.3%	73.5%	46.0%
音楽室	81.3%	90.0%	78.7%	75.3%
実習室	66.0%	67.7%	82.1%	48.1%
第一会議室	59.1%	61.2%	70.4%	45.7%
第二会議室	66.9%	68.4%	75.6%	56.7%
第三会議室	73.2%	73.5%	80.8%	65.3%
第一和室	67.5%	76.6%	78.0%	47.8%
第二和室	64.7%	75.6%	71.1%	47.4%
会議室等合計	67.5%	72.2%	76.3%	54.0%
施設合計	66.6%	70.7%	74.7%	54.4%

(参考)

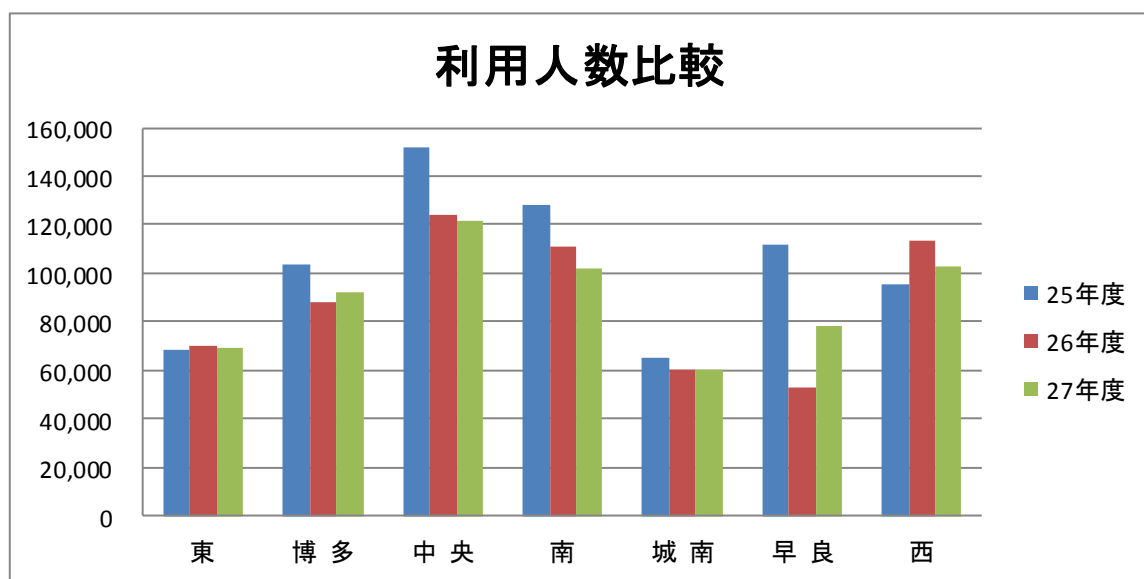
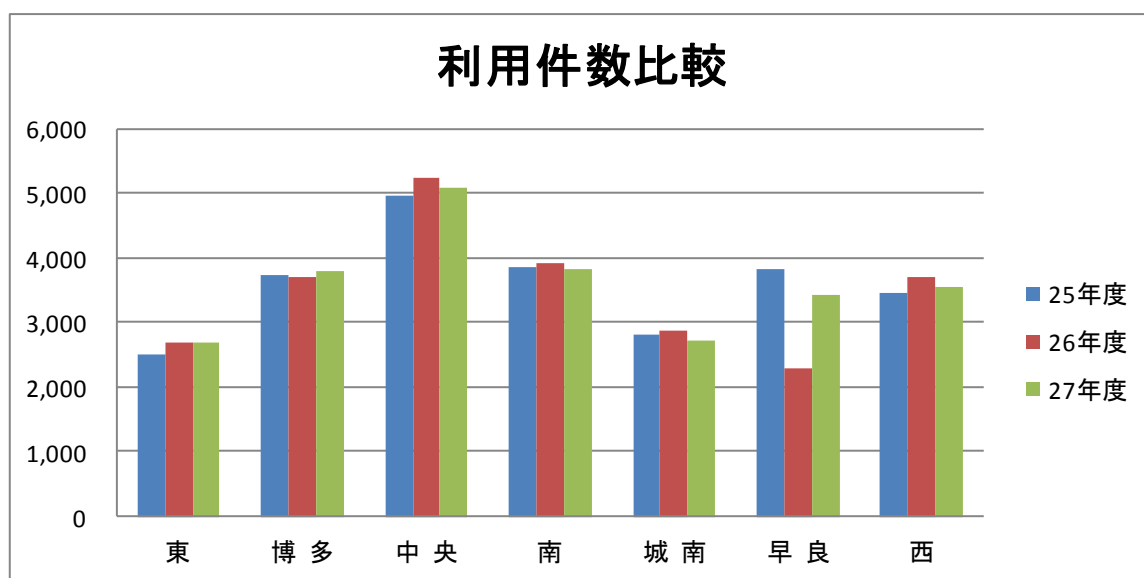
オ 他市民センターとの利用状況比較 (※各年度とも4月～1月末まで)

○利用件数

	東	博多	中央	南	城南	早良	西
25年度	2,489	3,739	4,968	3,853	2,797	3,835	3,462
26年度	2,673	3,700	5,220	3,905	2,862	2,286	3,690
27年度	2,695	3,793	5,065	3,831	2,712	3,420	3,530

○利用人数

	東	博多	中央	南	城南	早良	西
25年度	68,605	103,337	151,924	128,259	65,010	112,127	95,662
26年度	69,919	87,746	123,946	110,558	59,779	52,679	112,982
27年度	69,433	92,087	121,816	101,889	60,052	77,772	102,600



③ 平成28年度 生涯学習推進課予算の概要

歳 入

区 分	予 算 額		
	27年度	28年度	比 較
ホール・会議室等使用料	10,418	10,357	△ 61
自動販売機等設置料	1,951	1,951	0
合 計	12,369	12,308	△ 61

歳 出

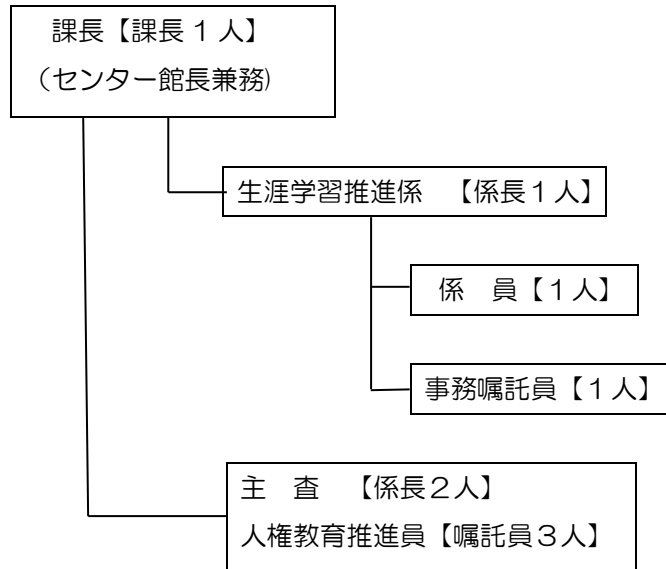
(単位:千円)

区 分		予 算 額		
		27年度	28年度	比 較
管理運営費	一般管理費	81,073	80,606	△ 467
	施設管理費			
	図書館費	6,090	6,090	0
	小 計	87,163	86,696	△ 207
主催事業費	人権講座・ 市民講座等	2,347	2,156	△ 191
	人権啓発連絡会議	811	770	△ 41
	P T A研修費	647	622	△ 15
	小 計	3,805	3,548	△ 257
施 設 整 備 費		0	0	0
合 計		90,968	90,244	△ 724

④ 平成28年度 組織体制・事務分掌

○生涯学習推進課組織体制

生涯学習推進課9人（職員5名+嘱託員4名）

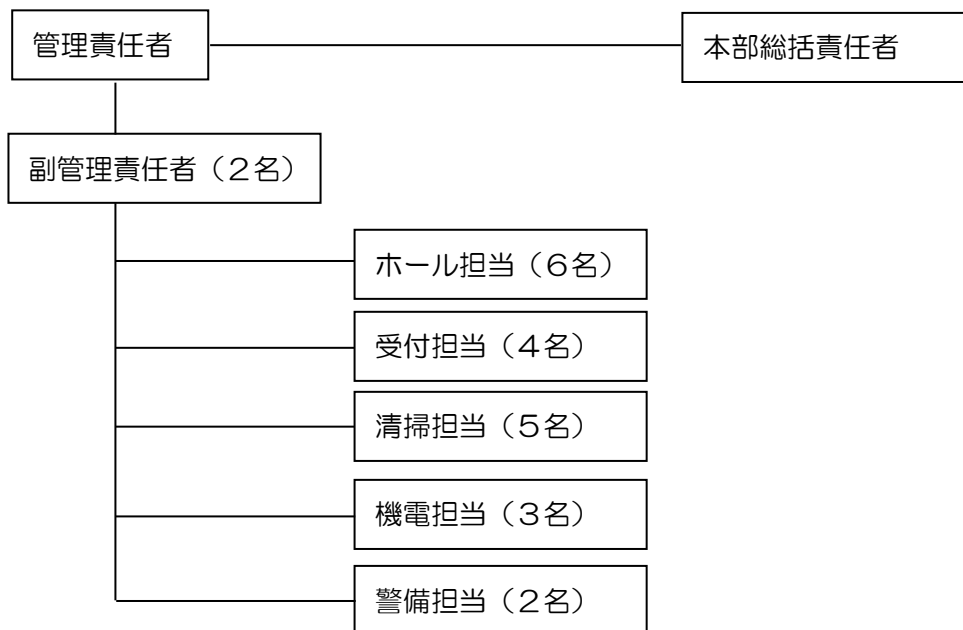


○事務分掌

係 名	事 務 分 掌
生涯学習推進係 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 係 長 1人 係 員 1人 嘱 託 員 1人 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課の庶務・経理 ○ 市民センター運営審議会に関する業務 ○ 市民センター指定管理者への指導及び連絡調整, 評価委員会等 ○ 市民センター指定管理者の選定に関する業務 ○ 生涯学習推進に関する業務 ○ 生涯学習推進事業の企画・運営 ○ 日本語教室, 子どもの人権に関わる総合講座 ○ PTAの活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・PTA広報誌づくり講座 ○ センター主催事業の企画運営 <ul style="list-style-type: none"> ・西区人権を考えるつどい ・暮らしの中の人権講座 ・人権を尊重する市民の集い
主 査 【2人】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校区人尊協, 公民館, PTA人権教育の指導助言 ○ 人権教育に関する主催事業の企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・人権啓発地域推進組織交流会 ○ 西区人権尊重連絡会議の運営(事務局) ○ 視聴覚教材の整備など
人権教育推進員(嘱託員) 【3人】	<ul style="list-style-type: none"> ○ 校区人尊協, 公民館, PTA人権教育の指導助言 <ul style="list-style-type: none"> ・PTA研修講座・研究集会・青少年健全育成研修会の支援 ○ 人権教育の資料収集, 研修方法の研究・開発

○指定管理者組織体制

平成28年度 (株)大興社・(株)福岡市民ホールサービス共同企業体
組織体制・事務分掌



○事務分掌

職位	担当業務
管理責任者	管理運営業務の責任者、市・図書館・共同事業体本部等センター運営に必要な機関との連絡調整業務
副管理責任者	市民センター主催事業（生涯学習推進課主催）補助業務、保守点検、防火管理、文書管理、広報、備品管理、教育研修、一時避難所開設時の運営協力、その他市民センター管理運営に必要な業務、市民センター活用相談窓口
ホール上演業務	ホール利用時の舞台設定、音響装置操作、照明装置操作、その他催物開催に係る準備、運営及び助言、舞台装置、舞台設備等の日常保守点検、及び定期保守点検時の管理監督業務
受付案内業務	センター受付窓口における、設置案内、利用案内、利用申請手続、コミネット登録手続、電話対応、センター使用料の徴収事務に係る業務、自習室手続
機電業務	冷暖房、空調、等の運転監視業務、水道、ガス、消火設備の保守点検、受変電設備の日常点検・監視業務、その他建築設備の保守点検に係る業務

⑤ その他

評価対象期間:平成26年4月1日～平成27年3月31日

平成26年度 福岡市立西市民センターの管理運営に対する評価について

1. 施設概要

- (1)施設名 福岡市立西市民センター
- (2)所在地 福岡市西区内浜1丁目4番39号
- (3)施設内容 延床面積5,190㎡(鉄筋コンクリート造 地下1階 地上4階建)
ホール(800席), 第1, 2, 3会議室, 第1,2和室, 実習室, 音楽室, 視聴覚室

(4)施設の役割

市民の教育, 文化の振興, 社会福祉の増進に寄与するとともに, 地域の連帯意識の高揚に資するため, 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条の規定に基づき, 市民センターを設置する。(福岡市立市民センター条例より抜粋)

2. 指定管理者

- (1)指定管理者 株式会社 大興社・株式会社 福岡市民ホールサービス共同事業体
- (2)指定期間 平成24年4月1日～平成27年3月31日

3. 評価方法について

評価方法については, 指定管理者より提出された26年度事業報告書, 自己評価書及び収支決算書等を確認し, 指定管理者から直接にヒアリングを実施したのち, 評価委員会にて評価を行ったものです。評価は, 下記の評価のポイントをもとに行っています。

※評価のポイント

- (1)実施体制
 - 管理体制, 人員配置は適切であるか。
 - 業務の一部委託は適切に行われ, 法令等に従い必要な点検を行っているか。
 - 個人情報の保護は適切に行われ, 必要な書類は整備・保管されているか。
 - 市や関係団体との連絡調整を適切に行っているか。
 - 危機管理・安全対策ができているか。
- (2)運営運営
 - 協定書に従った運営を行っているか。
 - 効果的な集客対策を行っているか。
 - 利用者に対するサービス, 苦情等の対応は適切に行われているか。
 - 地域との連携はできているか。
 - 施設の維持管理は適切に行われているか。
 - 環境への配慮は行われているか。
- (3)管理経費
 - 管理経費は適切に執行されているか。
 - 経費縮減の努力が行われているか。

4. 評価委員会の総合評価

(1)総合評価	4
(2)所見	<ul style="list-style-type: none"> ・協定書に定められた維持管理業務については, 企業努力により適切に行われていると評価するが, 機能面だけでなく館内に花を飾るなど快い空間づくりに取り組んで頂きたい。 ・個人情報の保護など情報セキュリティ対応については, ログ管理などさらに高いレベルでの対応ができる余地があるため, 取り組みの充実に努めて頂きたい。 ・環境への配慮については区とも連携し, 活動の輪が広がるような取り組みにして頂きたい。

5 目標や計画より特に優れた成果を上げている。 4 目標や計画より優れて達成できている 3 目標や計画どおり達成した(基準点) 2 達成できていない面がある 1 達成できていない
--

(2) 審議事項

①平成28年度 運営方針及び事業体系

<西市民センター運営方針>

生涯学習を通じて、誰もが支えあい健やかに生き生きと暮らせるまちづくりを目指し、豊かな人間性を備えた創造的な人材の育成を図るとともに、文化・芸術の振興を図る。

【重点目標】

ア 人権教育・啓発の推進

人権問題が多岐にわたっている現代、地域コミュニティづくりの基底には、何よりも人権尊重の精神が根づいていることが求められているため、人権を尊重し、人の多様性を認めあうまちとなるよう、様々な人権課題の解決に向けた各種取り組みを推進して参ります。

同和問題をはじめとする人権8課題の解決を目指し、安心して住み続けられるまちづくりや子育て環境向上に向けて、講演会・講座の実施等により、人権啓発活動などを推進するとともに、西区人権尊重連絡会議の運営、公民館や人権啓発地域推進組織の研修等活動充実のための助言・指導や、広く社会教育団体の活動支援に努めて参ります。

イ 生涯学習の推進に関する事業

市民が生涯にわたって行う自主的な学習活動を推進・支援することにより、市民一人ひとりの生きがいづくりや、豊かで充実した人生の実現を始めとした、住みよい社会づくりに繋がるよう、事業の充実に取り組むと共に、西区役所各課が取り組む生涯学習事業について、幅広く協力して参ります。

ウ 文化芸術活動の推進

優れた文化芸術に身近に接することができ、地域に根付いた文化芸術活動が活発に行われるよう、西区役所各課と共働して個性豊かな文化芸術の振興、文化芸術を支える人材の育成など、地域における文化芸術の振興を図るとともに、指定管理者による文化芸術の奨励に繋がる企画事業について取り組んで参ります。

エ 施設管理運営の充実

指定管理制度導入施設として、区の中央公民館的役割を十分果たしながら、市民のニーズに即した地域の文化活動を支援し、市民が気軽に利用し、交流できる市民センター施設となり、利用者増加につながる新たなサービスの提供に向けて、指定管理者との共働により、取り組んで参ります。

平成28年度事業体系

ア 人権教育・啓発の推進

— 講演事業等	人権を考えるつどい 暮らしの中の人権講座 人権を尊重する市民の集い（人権尊重週間）
— 西区人権尊重連絡会議	総会・研修会 運営委員会
— 人権尊重活動支援	人尊協（人権啓発推進組織）支援 公民館人権教育研修支援
— 社会教育団体支援	P T A人権教育担当者連絡会 P T A人権教育研修支援 P T A広報紙づくり講座 人権教育推進交流会
— その他の人権	西区不登校サポート事業 外国人のための日本語教室

イ 生涯学習事業の推進

市民生涯学習講座
子育てフェスタ（実行委員会事業）

ウ 文化・芸術活動の推進 （指定管理業務）

西祭支援業務
市民センター企画事業

エ 施設管理運営の充実 （指定管理業務）

管理運営業務
文化事業等開催・支援業務
センター利用促進
センター広報事業
地域との連携

② 事業計画

ア 人権教育・啓発の推進（生涯学習推進課業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
人権を考えるつどい	関係団体との共催であらゆる差別をなくすために地域における人権教育・啓発活動の充実を図る。（県同和問題啓発強調月間に実施）	関係団体の役員・市民	西区人尊連と共催 7月
暮らしの中の人権講座	同和問題など様々な人権問題に対する知識を深め、人権を大切にする生き方や社会について考える。	P T A成人教育委員、市民等	6月 4回
人権を尊重する市民の集い	人権啓発センターや人尊協と協力して、人権啓発活動を行い、差別のないまちづくりを目指す。（人権尊重週間に実施）	関係団体の役員・市民	12月
西区人権尊重連絡会議（事務局）	地域の自主的な校区人権啓発地域推進組織の活動支援と区民の人権意識を確立し、差別のない明るいまちづくりをめざす。 ・総会 ・委員研修会 ・運営委員会 ・広報紙「あけぼの」発行	西区内の関係機関団体	4月～3月
人権尊重推進協議会活動支援	「校区人権尊重推進協議会交流会」 校区人権尊重推進協議会の相互の情報交換や意見交流を行う。	各校区人権尊重推進協議会	3月
	校区人権尊重推進協議会への日常的な助言や指導を行う。		4月～3月
公民館人権教育研修支援	地域支援課と連携し、公民館の人権教育の充実を図る。	各公民館	4月～3月
PTA 人権教育担当者連絡会	単位P T Aの人権教育研修の必要性、事務手続き等の理解を深める。	各PTAの役員・担当教員	5月
PTA 人権教育研修支援	各単位P T Aが開催する研修会を効果的に実施するために、人権教育研修担当役員を対象に研修を行なうとともに、会員研修会開催の支援を行う。	各PTAの役員・会員	4月～3月
	西区小・中学校P T Aの活動を充実するため、研修講座・研究集会等の開催を支援する。		
PTA 広報紙づくり講座	PTA における広報紙づくりの基礎知識と技術を習得する学習機会を提供する。	各PTA 広報担当委員他	5月
人権教育推進交流会	関係機関・団体との交流学习を通して人権教育の充実を図る。	関係団体・関係公民館等	1月～3月
不登校サポート事業	不登校について正しい知識や対応方法などを学び、考える場を設けることにより、不登校で悩む保護者等を支援する。 ・不登校を考える会（毎月開催） ・不登校を考える親の集い（年3回開催）	関係者・ボランティア	4月～3月

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
日本語教室	日本語学習を必要とする外国人等の生活向上を目的に、日本語の習得と、日本文化等の学習や交流を深める教室をボランティア団体との共働で実施する。	日本語に不自由する外国人	毎週水曜開催 年間45回程度 4月～3月

イ 生涯学習事業の推進（生涯学習推進課業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
市民生涯学習講座	生きがいづくり、地域の活性化など、幅広い層の区民を対象とした生涯学習講座を開催する。	市民	5月～2月
子育てフェスタ （実行委員会事業）	子育て支援課が主管する「子育て人材ネットワーク推進事業実行委員会」委員として、西市民センターで開催する「子育てフェスタ事業」に参画する。	市民	

ウ 文化・芸術活動の推進（指定管理業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
西祭等文化・芸術事業 等開催・支援業務	振興課等が主管する「西祭」など西市民センターを利用して開催する文化行事に関し、ステージ運営やロビーの活用など、ソフト・ハードの両面で支援を行う。	市民	11月～12月
市民センター企画 事業	西市民センター指定管理者事業計画に基づき、ロビーコンサートやチャレンジプラス、センター感謝祭などの企画事業を実施し、センター利用を促進する。	市民	通年 ※別紙資料 P23～

エ 施設管理運営の充実（指定管理業務）

事業名	趣旨・内容	対象	摘要
管理運営業務	市民が利用しやすい施設となるようにサービスの向上に努める。	市民	通年
センター利用促進	指定管理者の応募時に提案された「平成31年度利用者目標！150,000人」に向けた取り組みを行う。	市民	通年
センター広報事業	西部地域交流センター（さいとぴあ）等との広報連携を図りながら、館内のデジタルサイネージやHP、FBの活用によりセンター活動のPRを行う。	市民	通年
地域との連携	西区子ども会育成連合会等の地域団体との連携により事業を実施し、市民センターの活用を図る。	市民	通年

平成28年度

西市民センター指定管理者事業計画書 (NO.1)

	回数期間	該当部門	平成28年										平成29年		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用サービスの向上															
各サークルの活動報告掲示板設置	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
イベントポスター掲示及びチラシ配布	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
指定管理者企画事業	随時	管理・ホール	○		○	○	○				○	○	○		
デジタルサイネージ活用	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
環境活動計画															
エコキャップ運動	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
緑のカーテン事業	夏季	管理・清掃		○	○	○	○	○							
センター緑化事業	通年	管理・清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
資源リサイクル事業	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
利用者ニーズの反映															
利用者アンケート実施	年2回	管理・受付					○→	→○					○→	→○	
一言カード(意見箱)設置	通年	管理・受付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
気づきメモの実施	通年	全部門	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
利用相談窓口設置	随時	管理・ホール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
苦情処理について															
苦情対応部門ミーティング	適時	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
全部門スタッフミーティング	年6回	管理		○		○		○		○		○		○	
従事者の質の向上															
基礎研修	年1回	全部門		○											
接遇マナー研修	年2回	全部門		○					○						
個人情報保護研修	年2回	全部門					○				△				
安全管理研修	年1回	全部門					○								
防犯防災緊急時対応研修	年2回	全部門	△								○				
コンプライアンス(法令順守)研修	年2回	全部門					○				△				
人権研修	年1回	全部門							○						
高齢者・障害者サポート研修	年1回	全部門		○											
環境への負担低減に係る研修	年1回	全部門		○						○					
管理者研修	年2回	管理			○					○					
清掃従事者研修	年1回	清掃									○				
警備員教育研修	年2回	警備			○						○				
施設設備管理技術研修	年1回	設備											○		
舞台設備操作従事者研修	年2回	ホール					○						○		
救命救急訓練(含AED)	年1回	全部門							○						
事故や災害時の対応															
衛生対策の実施	通年	全館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
消防・避難訓練実施	年2回	全館				○						○	←		
緊急連絡網作成・手順確認	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
避難誘導品準備・手順確認	通年	管理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
その他に報告書の提出等															
近隣地域及び関連団体との連携、情報交換	通年	管理	◎	△	◎	◎	◎	△	△	△	◎	◎	◎	△	
業務報告書の提出	度末	管理												○	
翌年度の業務計画書及び収支予算所の提出	年1回	管理											○		

- △確認研修
- 通常研修
- ◎重点月

平成28年度 西市民センター指定管理事業計画書（NO.2）

項 目	回数	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
舞台吊り物等設備保守点検業務	年2回			○					○				
ホール調光設備整備及び保守点検業務	年2回						○						○
舞台音響設備保守点検業務	年2回		○						○				
ピアノ（ホール及び音楽室）保守点検業務	年2回	○						○					
昇降機（エレベーター）保守点検業務	年12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
清掃業務													
（定期清掃）	年2回			○						○			
（冷却塔化学洗浄）	年1回				○								
（絨毯床洗浄）	年1回											○	
自家用電気工作物保安管理業務													
（日常点検）	月1回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
（年次点検）	年1回									○			
環境衛生管理業務（空気環境測定）7ポイント	年6回		○		○		○		○		○		○
飲料水													
（飲料水の遊離残留塩素検査・中水道の水質検査4項目）	週1回	5回	4回	4回	5回	4回	5回	5回	4回	4回	4回	4回	4回
（飲料水の水質検査15項目）	年2回					○						○	
（飲料水の水質検査12項目消毒副生成物）	年1回					○							
（簡易専用水道検査）	年1回			○									
（冷却塔レジオネラ属菌検査）2箇所	年1回			○									
（中水道水の大腸菌群検査）	年6回		○		○		○		○		○		○
消防設備保守点検業務（機能点検1回、総合点検1回）	年2回						○					○	
害虫予防駆除業務	年2回				○							○	
冷暖房空調設備保守点検業務													
（直焚吸収冷温水器、空気調和機）	年4回			○			○			○		○	
（冷却塔）	年3回			○			○					○	
（ファンコイル、空調用ポンプ等）	年2回			○						○			
（送風機）	年12回	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動制御装置保守点検業務													
（自動制御装置1回、中央監視装置2回）	年2回					○						○	
自動扉開閉装置保守点検業務（2台）	年4回			○			○			○			○
建築・設備点検業務	年1回										○		
受水槽等清掃及び汚泥収集・運搬並びに処分	年1回							○					
汚水槽等清掃及び汚泥収集・運搬並びに処分	年2回							○					○
濾過装置保守点検業務（保守点検2回、濾材交換1回）	年2回							○					○
自家発電装置保守点検業務	年2回				○							○	
樹木剪定業務	年5回			○	○		○			○			○

指定管理者企画事業 計画書（案）

<企画事業の概要>

事業名：西市民センター春のロビーコンサート

<概要>

西市民センターで活動する団体に限らず、地域で活動する団体へ日ごろの練習の発表の場所を提供します。

1 団体あたり 10～20 分の持ち時間で設定し、3～5 団体を予定しています。

募集は西市民センターフェイスブックや館内でのチラシ配布で告知致します。

目的：地域やセンターで活動する団体への発表の場の提供。

地域の皆様の集いの場所として音楽イベントの提供。

事業名：西市民センター吹奏楽合同勉強会

<概要>

九州情報大学 屋比久勲教授を講師に迎え、平成 28 年度吹奏楽コンクール課題曲を公募した 4 校程度の中学校・高等学校の吹奏楽部を対象にクリニックを実施。

客席も見学希望の吹奏楽部関係者を案内し、参加者全体のレベルアップを目指す。

参加バンド・見学希望者の募集は市政だよりミニコミ誌等を利用して広く募集する。

目的：地域団体活動支援・音楽等の奨励・施設利用促進を主な目的とする。

事業名：西市民センターロビー展覧会

<概要>

下記の期間ロビーにてセンター利用団体の作品や地域で活動する団体の作品など、様々な芸術・美術作品の展覧会を行います。

作品は様々な広報を利用して地域に限らず広く募集する。

目的：センター利用者、地域団体活動の美術芸術活動の支援奨励・施設利用促進を主な目的とする。

<企画事業の概要>

事業名：西市民センターミステリーツアー

<概要>

センター会議室・ホールにチェックポイントを設け、当日結成した即席チームでクリアしてゴールを目指す。

館内を巡りながらバックヤードも探検し、バックステージツアーの意味合いも持つ。

今年度からは西区子ども会育成連合会のジュニアリーダーにチェックポイント企画制作をお願いし、全館を利用した夏休みのイベントに作り上げたい。

目的：地域の団体との協働・こどもが参加できる事業開催・施設利用促進を主な目的とする。

事業名：フラメンココンサート

<概要>

福岡で活動するフラメンコ教室とのコラボで地域の皆様へフラメンコダンス観覧の機会を提供する。

練習生～プロまで様々なレベルを見ることができるところから、観覧の楽しみ・参加のきっかけなど複数のニーズに応えることができる機会となる。

目的：地域の団体との協働・芸術の奨励・施設利用促進を主な目的とする。

事業名：西市民センターキッズダンスコンサート 2016

<概要>

福岡で活動するキッズダンサー達の発表の場所を提供する。

2015年より表彰制度を導入し「ベストドレッサー」「ベストスマイル」「ベストパフォーマンス」「ベストユニーク」「市民センター特別賞」等の各賞を表彰し、トロフィーや楯を贈呈。今後は「区長賞」「図書館長賞」等も検討し、西区を上げたイベントになればと考えている。

目的：地域の団体との協働・芸術の奨励・施設利用促進・子どもを主体とする活動の応援を主な目的とする。

<企画事業の概要>

事業名：西市民センター感謝祭 2016

<概要>

日頃からご利用いただいているサークルや地域の皆様に感謝の気持ちを込めて、餅つきやビンゴゲーム大会等、年末の休館日直前に例年企画開催。

昨年度は日本語教室の外国人生徒や地域の子供達に参加を呼びかけ、参加していただいた。

目的：地域の団体との協働・施設利用促進・センター利用者交流機会応援を主な目的とする。

事業名：西市民センター避難訓練コンサート

<概要>

「もしもセンターホールでコンサートの最中に災害が発生したら？」をテーマに、福岡県警音楽隊（予定）や西警察署・西消防署の協力を仰ぎ、子供～高齢者・親子～障がい者等様々な参加者状況を想定して実際に避難誘導訓練を行う。

当日は警察活動や消防活動の紹介なども企画していく。（各方面に相談中）

広域的な参加募集だけではなく、近隣の関係機関にも情報を提供していく。

目的：地域団体との協働・施設利用促進・防犯防災関係機関との連携、センター活動の広報・センタースタッフ実地研修等を目的とする。

事業名：九州スチューデントジャズフェスティバル

<概要>

フェスティバル実行委員会が毎年開催している九州の小中高生対象のジャズバンドコンテスト。

2016年度より指定管理者が実行委員会に参画し地域の皆様に子供たちの活動紹介と、クラシックの吹奏楽とは違う音楽を地域の皆様に提供する事を目的とする。

目的：地域団体との協働・施設利用促進・音楽（JAZZ）観覧の奨励・センター活動の広報・子どもの参加支援を目的とする。

メ 毛